

府中市行財政改革推進プランに関する答申文（案）

平成 2 9 年 1 0 月 3 1 日

府中市長  
高 野 律 雄 様

府中市行財政改革推進プラン検討協議会  
会長 木 村 俊 介

府中市行財政改革推進プランについて（答申）

平成 2 9 年 5 月 1 5 日付け 2 9 府政財発第 7 号で諮問のあったこのことについて、次のとおり答申する。

- 1 府中市行財政改革推進プランは、別添の内容を踏まえて策定されたい。
- 2 社会経済情勢が急激に変化する中で、市政においても人口減少や公共施設の老朽化等の課題が顕在化している。これらの諸課題を克服し、将来にわたる成長力を確保するために、上位計画である総合計画後期基本計画との連動を図って計画的な市政運営を実現するとともに、行財政改革推進プランに基づくスリムな経営と歳入確保の努力によって健全で持続可能な財政基盤を確立してほしい。
- 3 まちづくりは公だけが担うべきものではないことから、民にできることは民に任せ、様々な市民の知恵と力を合わせた市民協働のまちづくりを更に進めてもらいたい。この市民協働を進める前提として、市民と市の情報共有を図ることが不可欠である。一方で、市民には受益に見合った負担を求めるほか、行政に関わりのある団体に対しては、補助金の見直し等を通じて自主・自立化を促してほしい。
- 4 行財政改革推進プランに掲げる項目を着実に実施するとともに、その結果を評価し、更なる改革につなげることが重要である。職員一人ひとりが本プランの内容を熟知するとともに、時代を先取りしながら明確な目標を立てて業務を遂行する意識と能力を持ち、果敢に行財政改革に取り組むことにより、「みんなで創る 笑顔あふれる 住みよいまち」が実現されることを期待する。